

CASE STUDY 採用事例



Introducing company

03

医療法人社団志仁会 三島中央病院

自分たちが可愛いと思える
デザインでモチベーション向上
明るめのカラーが院内の雰囲気をもたらしやすく

暗めの色は圧迫感を与える懸念があり
今回は明るめのカラーを選択。

各種診療科、救急・急性期医療に健診センターや療養病棟・地域包括ケア病棟も併設し、訪問診療や訪問看護も含めて地域に密着した医療を提供している三島中央病院。同病院では、以前から動きやすいスクラブを採用していましたが、今回は特に色の選択に配慮したそうです。以前のユニフォームはダークネイビーで統一され、スタッフには好評だったものの、患者さんの視点に立つと異なる景色が見えてきました。それは、患者さんの立場になって身体抑制のシミュレーション体験を行った時のこと。暗い色のユニフォームに囲まれると、心理的な圧迫感があったといいます。そのため「次に選ぶなら明るい色を」と、今回のカラー選択につながりました。紺系の色を外して、ある程度デザインの候補を絞ったあと、全員の投票制で選ばれたのがフォークのジップスクラブ®です。

好きなデザインを着られる喜びに加え
動きやすさなど機能性にも高評価。

「自分たちが可愛いと思って選んだものを着られるから、みんなすごく嬉しそうでした」と菊池真貴子看護部長。女性看護師はラベンダーもしくは花柄もしくは白衣、女性理学療法士はピンク、男性看護師はグレーまたは白衣、男性理学療法士はセージグリーン。いずれの色も軽やかで明るい印象を与えます。もちろん、フォークのジップスクラブ®ならではの着心地の良さも好評です。いわゆる白衣の着用経験もある菊池部長は、一度スクラブを着ると動きやすさを実感し、ほぼ毎日スクラブを選ぶようになったとのこと。特に前屈みになって患者さんを支えたり、車椅子とベッド間の移乗をしたりする際に、背中への伸縮性の高さが分かります。看護される患者さんの気持ちと、毎日着用するスタッフの希望。その両方を満たすユニフォームとして選ばれた、明るめカラーのスクラブ。結果的に病院内の雰囲気も明るくなり、働くモチベーションの向上にもつながっています。

自分たちで選んだ
デザインなので嬉しいです。



大きめのポケットが両側にあり、
助かっています！

着用スクラブ

- 看護師 女性:7078SC-52ラベンダー×ダークネイビー
男性:7044SC-5グレー×ダークネイビー
- 看護助手 7023SC-2サックス×ダークネイビー
- 理学療法士 女性:7040SC-3ミリーピンク×ガンメタ
男性:7040SC-4セージグリーン×ガンメタ



医療法人社団志仁会
三島中央病院

静岡県三島市緑町 1-3
<https://mchp.or.jp>

「親切・丁寧・確実な医療提供により地域全体を支える」という理念のもと、各診療科に加えリハビリや健診施設も備えた、ケアミックス型の中核病院です。1977年に耳鼻咽喉科として開業して以来、地域のニーズに応じて診療科や病床等の増設を行い、2018年には地域包括ケア病棟も稼働。常に地域医療への貢献を念頭に最善の医療を提供できるよう取り組んでいます。

